

(様式1)

自己評価票

作成日 平成 24年 4月 10日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870101367		
法人名	(有) ハイブリッジ		
事業所名	グループホームハイブリッジ	ユニット名	ハイブリッジ2
所在地	〒310-0847 水戸市米沢町98-1		
自己評価作成日	平成 24年 4月 10日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスに変更になった時点で、新たに職員全員で話し合い理念を作り上げ、その理念を共有し実践している。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々がホームの行事に参加することは、定例となっている。また、地域のお祭りや空き缶拾い、小学校での運動会、市民センターでの行事（体操や催し物）への参加をし交流を日常的に行っている。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議においても話し合っており、地域の相談窓口や施設の開放等の地域貢献を検討している。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では日々の活動や取り組み等の報告をし、地域の方々から様々な意見や情報をいただき、そこでの意見や情報をもとにイベントに参加させていただいている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	現在は運営推進会議以外は行き来する機会がないので、今後連携を図って行きたい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束検討委員会の委員を中心に内部研修を実施している。また、外部研修にも積極的に参加し、全職員が身体拘束の内容とその弊害を理解、実践できるよう取り組んでいる。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止法等においても、内部研修を行い学ぶ機会を持っている。日頃より、職員間においても言葉遣い等にも十分に注意を払い支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	日常生活自立支援事業や成年後見人制度についても内部研修や外部研修の機会を設けている。必要とする対象者がいると判断すれば、管理者と相談しこれらの活用を支援していく。
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相談の段階から管理者が責任を持って対応・説明を行い、利用者やご家族の不安や疑問にも十分な説明をし理解・納得ができるようにしている。契約書等は、例をあげながら説明している。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者やご家族から意見や要望を頂いた場合は、職員ノートや申し送り時において職員間で共有できるようにしている。ホーム玄関に苦情ボックスを設置している。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一度の全体ミーティング、定期的な食事会等を行い意見や提案を聞く機会を設けている。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格や経験に応じて研修に参加し、スキルアップを図っている。また、勤続年数に応じて表彰式を行っている。
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任従事者研修、中堅従事者研修、指導監督従事者研修の3つの研修体系をとり、段階的に全職員に対し研修を行っている。外部研修においても、全職員に最低年1回の研修参加機会を設けている。
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	近隣のグループホームとは、互いの行事に参加するなどして交流が定期的にある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	緊急時以外はサービス利用の相談の段階から、何度となく面接させていただきご本人とじっくりと話す機会を設けている。また、入所に至るまで余裕がある方に関しては、利用されているサービスの状態も見学させていただく事もある。
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時には困っている事について聞き取りをし、入所前の面談時には施設の機能や体制を説明し、施設に対してのご家族の要望や不安などを取り除けるよう十分な説明をしている。
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた段階で、他のサービスを利用した方が良いと思われる場合は、ホーム以外のサービスを勧めることもある。また救急と判断しホームに空きがない場合、近隣のホームに連絡し対応している。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人のできることに着目し、職員と一緒にに行い、時には教えていただきながら、日常生活の中で本来の個性や力を発揮し、生き生きと生活していただくようにしている。
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族来訪時には、生活の様子を伝えたり、電話・手紙等で近況報告をしている。また、忘年会などの行事に参加して頂き、ご家族様との交流を深めて頂く機会を設けている。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人の面会がある入居者には、会話の中で、その方の話をするようにしたりする。行きたい場所や会いたい人に対しても出来る限り支援している。
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を職員は把握しており、良い関係が継続できるよう配慮している。また、トラブルにならないよう職員が間に入るなどの支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後のフォローもできる限りして行けるように努めている。体調を崩され入院となった後も、お見舞いに行ったり家族のサポートをし、終末まで関わりを持っている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望や意向の確認が難しい利用者が増えているが、月に1度カンファレンスを行い、支援方法の見直しを行い、自己決定を尊重するように努めている。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書や看護サマリー、ご本人・ご家族からの聞き取り調査を行う。また、日々のホームでの生活の関わりの中で利用者との会話を大切にし、「これまでの暮らし」を楽しみながら話せるような雰囲気心がけ支援している。
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	情報や実践した経過は、記録として残している。口頭での毎日の引き継ぎも丁寧に行っている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月に1度ユニット会議を行い、ケアプランについてモニタリングを行い、介護計画に反映している。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の今日と昨日の変化を誰が見ても気付くことができるように、わりやすい記録の書き方に努めている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	買い物や散歩が好きな利用者が多いので、臨機応変に対応している。また、介護認定更新手続きの代行支援も行っている。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員やボランティア・小学校・市民センターとは定期的に関わりを持ち、協力して頂いている。消防署による避難訓練も年に1度行っている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族のかかりつけ医を希望される場合は、そちらを優先しているがホームにもかかりつけ医がいることを説明させていただき適切な医療を受けられるよう支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が常勤で配置されており、日常的に薬や緊急時の対応を相談できる。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	週に1度往診があり、その際に情報交換や相談を看護師が中心となって行っている。また、入院中も職員病院を訪問し情報を頂いている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	年に1度の家族面談の際にご家族に終末期のケアについての希望の確認を行っている。ホームにおいては、「重度化した場合の看取りの指針」を定めている。それらの事は、職員間においても共有し、「看取り介護の連携の在り方」についても研修を行い知識を深めている。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	管理者・看護師により指導を受けている。緊急連絡の仕方は、マニュアル化しており、常に職員が目につくところに掲示されている。また、救急救命講習会なども行っている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練を行っている。その際、利用者も参加して頂いている。職員は、消火器の使い方等の訓練も行っている。消防法により「スプリンクラー」の設置もしてある。

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の人格を尊重し、常にご本人の立場に立ち、職員は思いやり・優しさを心がけ対応している。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	あらゆる場面において、出来る限り入居者のペースに合わせ、はっきり・笑顔で自己決定ができるような言葉かけを行い、ご本人が意思をはっきり伝えられるよう働きかけていく。
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「○○がしたい」と要望があった場合は、その日の状態に合わせて、自由に選択できる場面作りをしている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節感・個性を大切にし、ご本人と相談しながら、その時に合った洋服を決めて頂けるよう支援している。訪問理容室があり、希望の髪型にしてもらっている。また、近隣のカットサロンへ行かれる方もいる。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はメニューに添って作成するが、入居者の要望に答え、好きな物を食べて頂く事が月に何度かある。また、個人の口腔の状態に合わせ、食べやすい形態にしている。調理手伝いや片づけは入居者の方にも手伝って頂いている。ゆったりと食事が楽しめるよう音楽を流すなどの工夫もしている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員一人ひとりが、水分や食事摂取量を確認・把握しその時々で必要量が摂取できるように支援している。
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを実施している。入居者の状況・状態に合わせて対応している。義歯洗浄の支援も行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、それぞれのタイミングでプライバシーに配慮しながらトイレ誘導を行っている。そうすることより失禁が減りご本人も不快なく毎日が送れるよう支援する。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日ほぼ体操を行っている。入居者の排便の有無は毎日把握するのはもちろんのこと、便の形状・色などにも注意を払い、看護師に報告・相談しながら対応している。水分量は常に意識をし、必要に応じて声かけや介助をそてている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	だいたい1日おきの入浴になってしまっているが、入浴方法・温度・順番などは、身体状況に配慮しながら、事故の無いよう介助にあたっている。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりに合わせた安眠や休息を支援している為、特に就寝時間を決めていない。寝具は、ご本人馴染みの物で常に清潔な物を用意している。
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、誰がどんな薬を内服しているかの把握に努め、ミスがないようダブルチェックを行っています。薬剤師の薬の説明もあり、何かあったら、看護師もおり相談できるシステムが整っています。
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今まで家事を得意としてきた方には、役割として家事の手伝いをして頂いたり、買い物希望されれば同行したりもします。出来ることは、ご本人の気持ちをくみ取り対応しています。
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者一人ひとりの希望・気分に合わせて買い物や散歩・ドライブと気分転換できるよう外へ出る機会を設けています。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本は、ホームでご家族からお小遣いをお預かり管理し、入居者が欲しいものがあれば購入したりしていますが、ご家族と相談し、少量のお金をご自分で管理されてる入居者の方もいらっしゃいます。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望があれば、いつでも自由に電話することができます。ご家族からの電話も取り次いだりもします。正月には、ご家族に年賀状を出したりもしています。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂や居室は、自然の彩光が入り、いつも明るい。毎月行う行事の写真を貼りだし、季節感を感じてもらえるようにしている。入居者の余暇活動での作品を掲示したりなどもしている。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂でテレビを見たり、新聞を読んだり、窓から景色を眺めたり、居室で休まれたり自由に過ごせるようになっている。畳スペースやソファも配置されています。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の使い慣れた生活用品が持ち込まれおり、思い出の写真や絵やお花など飾られるなど工夫され、安心して過ごせる場所となっている。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりが安全に生活できるように工夫し、自立した生活を送って頂けるようにしている。トイレは、わかりやすいように大きな文字で「便所・トイレ」と貼りだしてある。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある ○ 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない